

平成27年度 学校評価実施報告書

京都市立音羽中学校

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	評価日	評価者(いずれかに○)
1 確かな学力	わかりやすい授業の実践	コミュニケーション能力の育成	教職員・児童アンケートの意識分析、研究協議会の授業者	「授業が分かりやすいか」の質問に対して、今回も87%の生徒が肯定的回答	⇒ 「授業が分かりやすい」という生徒は前期とほぼ同数、「家で予習復習をしている」という生徒は、1年生で前期より減っているが、保護者の意識からは、まだ家庭学習は定着していない実態がみられる。「積極的に発表」「質問している」では、肯定的な回答は今回も低調で、積極的な取組に課題が残る。	授業に積極的に参加し、課題解決の意識を育てるため、授業の最初に『本時の目標』を掲げ、生徒自身が目的意識を持って授業に臨めるようすることが定着してきたが、さらに徹底して取り組みたい。家庭学習の習慣化に向け、学習確認Pの効果的な活用をさらに進めたい。	⇒ 以前に比べ、落ち着いた状況で授業が進められているようで安心している。さらなる学力の向上を目指し、小学校からの中学への入学率をさらに高めて欲しい。	学校運営協議会による意見
	家庭学習の習慣化	学習確認プログラムの活用	保護者・生徒アンケート結果	「家で予習復習はできているか」の質問に対して6割が肯定的であるが不十分である。		学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策		
2 豊かな心	豊かな体験活動の実践	学校行事等、体験活動の実践	生徒感想文などによる意識調査	体育大会・文化祭の取組を通して、クラスの協力を感じた感想が多く見られた。	⇒ 文化祭や体育大会といった学校行事を通して、一つの目的に向かい人と協力する心、人を思いやる心などを育てることができた。規範意識については、取組の成果が現れてきている。	年間を通して集会等で生徒が企画、進行出来るよう指導していく、自尊感情や自己有用感が育つようにする。さまざまな体験活動によって得られる自尊感情や自己有用感の高揚を図るとともに、人の心を大切にし、しっかりとあいさつのできる生徒を育てたい。	⇒ 体育大会や文化祭等の行事での中学生の取組は、迫力があり感動を感じた。登下校中の交通マナーなど、改善を図ってほしい面もある。	休日参観や自由参観などの機会に、できる限り学校に足を運び、見守っていただきたい。
	規範意識の醸成	規範意識の醸成	教職員・保護者・生徒アンケート	「ルールを守っていますか」の質問に対して肯定的な回答は約92%で安定してきた。				
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	保健委員会活動の活性化	生徒アンケートによる意識調査	「朝食を毎日食べていますか」の質問に対して肯定的な回答は9割近い。	⇒ 「朝食を毎朝」は、9割とほぼ良好である。就寝時間の規則性は8割9%、起床時間の規則性は9割が肯定的な回答で、おむね良好であるが、就寝時間の規則性がやや弱く、家庭との連携が必要である。	基本的生活習慣の重要性について、保護者への発信をさらに充実させていく。『保健だより』の充実を図っているが、さらに、学級での指導も深めていく。また、治療率も低いため、呼びかけを強化したい。	⇒ 多くの課題は、家庭でのしつけがもとになっており、家庭・地域での取組が重要性である。家庭・地域と学校が連携を強めることが肝要である。	自治連組織やPTA活動等を通じ、各家庭への意識喚起に協力したい。
	独自の取組	小中連携教育の推進	小中合同研修会の実施・小中教務主任会の実施	小中合同研修会の実施小中教務主任会の実施		小中連携をさらに推進し、9年間の明確な目標を共有していく取組を推進するため、定期的に開催している小中連携主任による情報交換だけでなく、研究・生徒指導・人権教育・道徳など、分野別の小中交流会の開催も引湯していく。生徒会の取組も充実してきた。	⇒ 学校ホームページを見ると、学校の様子がよくわかる。さらに充実したものにして欲しい。	今後とも学校からの情報を注視し、子どもたちをしっかりと見守っていただきたい。
4 生徒会活動の充実	リーダー研修会の実施	リーダー研修会の実施	四宮児童館との連携(「赤ちゃんと遊ぼう」への参加)	地域の教育資源の活用状況	リーダー研修では外部講師の活用により、感動を共有し、効果がみられた。地域自答館行事への参加で視野を広げることができた。	学級通信・学年だより・学校だより・学年通信・学級通信等の発行	⇒ 学校ホームページアカセス数は1日平均約100件	学校ホームページを見ると、学校の様子がよくわかる。さらに充実したものにして欲しい。
	情報発信の充実	学校ホームページ・学校だより・学年通信・学級通信等の発行	学校ホームページ閲覧数	学校ホームページアカセス数は1日平均約100件	生徒会の取組のさらなる充実と地域との交流を図りたい。学校からの情報発信のニーズは高く、さらに充実させていただきたい。			

4 総括・次年度の課題

学校評価を通して、保護者や地域の方々に、本校の教育活動についての理解を深めていただくことができた。

次年度以降、今回の評価結果を生かしていくことができるよう、家庭・地域との連携をさらに一層深化させ、家庭学習の習慣化・学習への積極的な姿勢の向上などの具体的な取組を進めていきたい。

従来より重点的に取り組んできている生徒指導の継続により授業規律・生活規律の向上が図られてきた状況であり、安定した授業規律・生活規律を基盤として、一人ひとりの生徒を徹底的に大切にし、生徒の学習意欲の向上や教員の授業改善・指導力の向上を進め、生徒の学力の向上を徹底的に図りたい。そのために、分掌部会、教科会、校内研修などの工夫や充実を図って行きたい。

学校運営協議会について、教員の校務分掌に役割を明確にし、学校運営協議会がより活発に活動できるようにしていただきたい。